



1965 年型アルヴィス 3 リッター・ パーク・ウォード・サルーン

アルヴィス・パーク・ウォード・サルーンの特徴は、コーチ・ビルダー（車体製造業者）が手がけたクルマであるということ。つまり、熟練の、こだわりを持った職人がこのクルマを製作したのです。

TE21 は最後から 2 番目となるアルヴィス・モデルで、合計 352 台が生産され、そのうちの 273 台が現存しています。前モデル TD21 から TE21 にはさほど多くの変更は加えられず、外観上の大きな変更は、ヘッドランプの 4 灯化でした。

TE21 の最高出力は 115 bhp / 4,000 rpm から 130 bhp / 5,000 rpm へと 13% 増、最高速度は時速 110 マイル（約 177 キロ）、最大トルクは、156 lb.ft.(3,250 rpm) から 172 lb.ft.(3,250 rpm) となりました。7 つの頑丈なベアリング・クランクシャフトは、エンジン回転数増と改良が図られたトルクにも、しっかりと対応できていました。

1965 年 2 月 9 日、このモデルが自動車ディーラーの Brooklands of Bond Street に納車されました。最初のオーナーは、ロンドンのグレイストーク・プレイスに住むユージーン・ローゼンバーグ（Eugene Rosenberg）氏でした。このクルマは今も優れた状態で、オートマチック・ギアボックスとパワーステアリングが新たに加えられ、良質なクラシックカー・ドライビングを楽しむことができます。このクルマは、アルヴィスのスペシャリストであるレッド・トライアングル社によって、2004 年に大規模なボディーレストアがなされ、最近では、インテリアのレザー、カーペットおよびヘッドライニングが一新されました。

仕 様

エンジン：	直列 6 気筒
排気量：	2,993 cc
ボアストローク比：	84/90mm
キャブレター：	SU ツインキャブ
トランスミッション：	ボルグ・ワーナー製 3 速オートマチック
最高出力：	130bhp/5,000rpm
時速 50 マイル到達時間：	8.5 秒
0-400m 加速：	18.8 秒
最高速度：	時速 112 マイル（約 179.2 キロ）